

製品名: STAT3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80909**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	88kDa

抗原情報

遺伝子名	STAT3
別名	APRF; HIES; FLJ20882; MGC16063; STAT3
遺伝子 ID	6774.0
SwissProt ID	P40763
免疫原	大腸菌で発現したヒト STAT3 の精製された組み換え断片。

背景

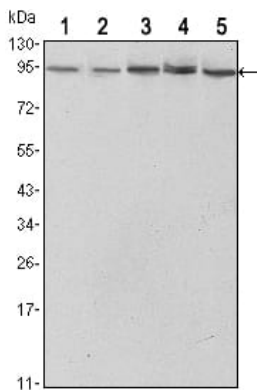
Stat3 転写因子は、多くのサイトカインや成長因子受容体にとって重要なシグナル伝達分子であり、マウスの胎児発育に必須である。Stat3 は多くのヒト腫瘍において恒常的に活性化されており、発癌能と抗アポトーシス活性を有する。Stat3 は Tyr705 のリン酸

化によって活性化され、二量体形成、核移行、DNA 結合を誘導する。転写活性化は MAPK または mTOR 経路を介して Ser727 のリン酸化によって制御されていると考えられる。Stat3 アイソフォームの発現は、Stat3a (86 kDa) と Stat3 の相対的な発現レベルが生物学的機能を反映していると考えられる。

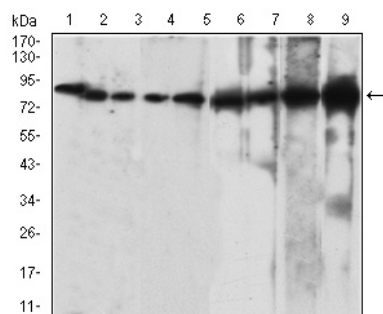
研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

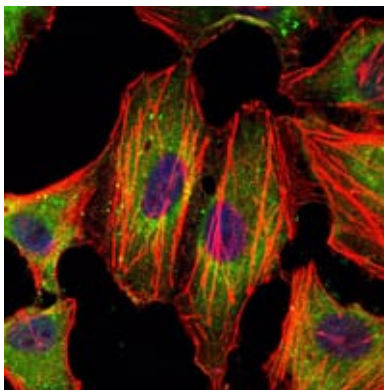
画像データ



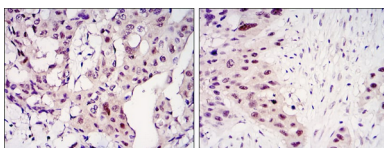
Hela (1)、NIH/3T3 (2)、Jurkat (3)、PC-12 (4)、COS7 (5) 細胞溶解物に対する STAT3 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



NRK(1)、C2C12(2)、C6(3)、81505(4)、KO-SF(5)、RSC-96(6)、NIH/3T3(7)、HeLa(8)、Jurkat(9)細胞溶解物に対する STAT3 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



STAT3 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



DAB 染色による STAT3 マウス mAb を使用した、パラフィン包埋ヒト乳がん組織(左)と肺がん組織(右)の免疫組織化学分析。